

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	3次元設計教育小委員会	主 査 名：松島史朗 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：加賀有津子
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>BIM、ICT、ものづくり技術等の新しい3次元設計技術やその活用事例を調査・共有し、創造的な建築設計プロセスやそのマネジメント技術を、教育の中で活かすための方法を検討する。</p> <p>初年度： 先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 効果的な教育手法開発のための検討 研究会の開催</p> <p>2年度： 先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 効果的な教育手法開発のための検討 研究会の開催 研究活動成果のとりまとめ</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松島史朗 (豊橋技術科学大学) 幹事：下川雄一 (金沢工業大学) 委員：大西康伸 (熊本大学)、加賀有津子 (大阪大学)、川角典弘 (和歌山大学)、木村謙 (エーアンドエー)、中田千彦 (宮城大学)、福田知弘 (大阪大学)、前稔文 (大分工業高等専門学校)、村上祐治 (東海大学)、竹中司 (アンズスタジオ)、中澤公伯 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	教育モデル研究WG ：小委員会活動計画の「教育手法開発のための検討」については、教育モデル研究 WG にて、調査した先端事例の分析や効果的な教育手法開発に向けての集中的な議論を行う。2 年目では冊子等の媒体にまとめる上での中心的役割を担う。	
2011 年度予算	320,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)、メール協議複数回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第34回情報・システム・利用・技術シンポジウム小委員会企画研究集会① 「想定と対応するための建築情報教育－BIMによる空間情報取得・活用と建築教育」 参加者数49名 『第34回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収 (pp. 321-334)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初の各活動計画に対して、それぞれ以下のような達成度であることから、全体としての目標の達成度は 70%程度と考えられる。 1. 先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査 60% 2. 効果的な教育手法開発のための検討 60% 3. 研究会の開催 100%

<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>1. 委員が地方に分散していることもあり、十分に委員相互のコミュニケーションがとれていない。委員個々人は、優れた業績をあげているが、それらを統合した見地から発信をすることが必要である。</p> <p>2. 先端的な建築設計プロセスや技術活用事例の調査にもとづいて、教育手法の開発を目指す主旨に対して、各委員の取り組みについてはある程度まとまった資料はできたが、更新発展については進捗が遅い。震災による委員の活動の制約などの影響を考慮する必要もあるが、集会を予定している 2012 年度には、成果としてまとめたい。</p>
<p>その他</p>	